

令和元年度 上下水道事業決算の総括

1) 経営状況

恵庭市人口ビジョン（平成 29 年 12 月改定）では今後の人口減少は避けられない状況となっており、水道料金及び下水道使用料においても減収が懸念されます。令和元年度は給水人口がわずかに増加したことにより、家事用の水道料金は微増となりました。一方で下水道料金については工場などの家事用外の下水道使用件数が減少し、下水道収益は減少となりましたが、水道事業および下水道事業ともに、黒字決算を確保しております。

2) 水道事業の業務状況

年度末の給水人口は 69,389 人（前年度比+275 人）と微増となりました。また、給水区域内人口に対する給水人口の割合（給水普及率）は、99.3%（前年度比±0.0%）となっています。

次に、給水件数については、家事用が前年度比+361 件と増加したことを主因として、全体で 30,645 件となりました。また、料金収入の対象となる水量（有収水量）においても、6,146 千 m^3 （前年比+35 千 m^3 ）と僅かに増加しました。

施設整備においては、恵庭市水道事業管路更新計画に基づき、配水管の新設（布設）を 132.1m（前年度比 Δ 1,520.9m）、改良（布設替）を 6,390.6m（前年度比+2,122.2m）施工しました。

メーター工事では、水道メーターの使用期限到来に伴う取替を 4,259 個（前年度比 Δ 456 件）、メーターの新設を 522 個（前年度比 Δ 91 件）実施しています。

3) 下水道事業の業務状況

年度末の処理区域内の水洗化人口は、68,063 人と前年度比+287 人の増加となりましたが、雨水も含めた年間総処理水量は、10,769 千 m^3 と前年度比 Δ 611 千 m^3 と僅かに減少となりました。

次に排水件数については、家事用が前年度比+358 件と増加したことを主因として、全体で 30,365 件となりました。また、使用料の対象となる水量（有収水量）においても、7,711 千 m^3 と前年比 Δ 157 千 m^3 と僅かに減少しました。

施設整備においては、管更生を 92.9m、雨水管の布設を 113.4m、汚水管の布設を 1868.8m 施工し、個別排水処理施設を 5 基設置、2 基撤去したことにより前年度比+3 基の増加となりました。

4) 水道事業の財務状況

(収益的収支)

給水収益は、1,357,807 千円（前年度比 9,809 千円）と増収となりました。一方で、「受託事業収益」が 50,507 千円（前年度比 Δ 3,344 千円）と減収しているもの

の、「その他営業収益」が 68,639 千円（前年比 5,112 千円）と増収になったことにより、経常的な収入「営業収益」については、1,476,953 千円（前年比+11,577 千円）と若干の増収となりました。費用面においては、委託業務等の見直しにより、経常的に発生する費用である「営業費用」は、全体で前年度比 14,261 千円圧縮され、経常利益では、136,566 千円と前年度比 11,175 千円増益となりました。当年度純利益につきましては 135,907 千円と前年度比 10,742 千円の増益となりました。

(資本的収支)

水道施設整備費は 314,812 千円と前年度比 14,093 千円の減少となっておりますが、これは、当初予定していた北海道の負担金工事が延期になったことが要因であります。また、「メーター設置費・固定資産購入費・企業債償還金」を含む資本的支出全体においても 576,925 千円と前年度比 42,974 千円の減少となりました。

資本的収入 153,900 千円との収支差額△ 423,025 千円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 28,666 千円と減債積立金処分量 125,165 千円、過年度分損益勘定留保資金 269,194 千円により補てんしました。

5) 下水道事業の財務状況

(収益的収支)

下水道使用料は 1,016,754 千円（前年度比△ 21,560 千円）、雨水処理負担金は 546,391 千円（前年度比+11,744 千円）となりました。また、受託事業収益については、生ごみ・し尿処理場維持管理受託事業が 59,632 千円（前年度比+884 千円）と増収となっておりますが、営業収益全体では、1,622,964 千円（前年度比△ 8,932 千円）と僅かに減収となりました。一方で、費用面においては、処理場費減少（前年度比△ 33,021 千円）等を要因として、営業費用全体では、2,335,938 千円と前年度比 72,366 千円の減少となりました。営業外収益は、他会計補助金と他会計負担金が合わせて 159,207 千円と前年度比 108,429 千円の大幅減収となっていることから、経常利益は 99,537 千円と前年度比 57,185 千円の減益となっております。

当年度純利益は、100,001 千円と前年度比 57,363 千円の減益となりました。

(資本的収支)

公共下水道整備費は 1,144,246 千円と前年度比 172,146 千円の増加となっておりますが、これは、汚泥乾燥施設全体設計委託等の委託料が前年度比 217,373 千円の増加、負担金が前年度比 43,600 千円の増加、工事請負費が前年度比 90,714 千円の減少が要因であります。また、企業債償還金においても 990,705 千円と前年度比 68,838 千円の減少となりました。

この結果、収支差額は 905,139 千円の不足となりますが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 56,769 千円、減債積立金処分量 157,363 千円過年度分損益勘定留保資金 691,007 千円により補てんしました。

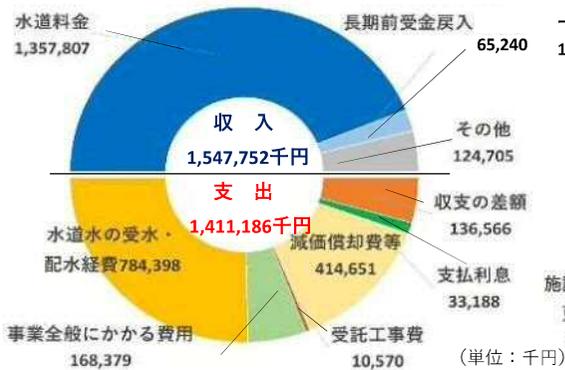
令和元年度 水道・下水道事業会計 決算見込み概要

水道事業会計

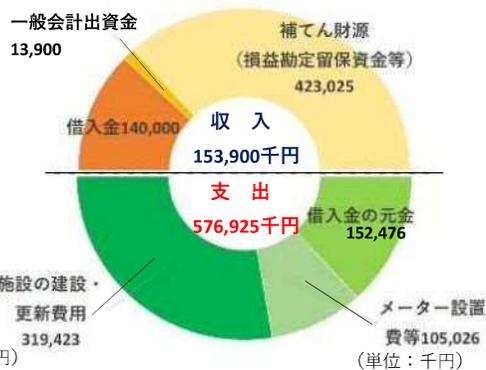
収益的収支 (税抜)

収入 予算	1,547,752 1,595,357	千円	給水収益 予算	1,357,807 1,345,999	千円	純利益 予算	135,907 148,999	千円
(3.0%	減)	(0.9%	増)	(8.8%	減)
支出 予算	1,411,186 1,445,358	千円						
(2.4%	減)						※特別利益・特別損失を含む

収益的収支 (税抜)



資本的収支 (税込)



資本的収支 (税込)

収入 予算	153,900 157,235	千円	建設改良費 予算	424,449 514,859	千円
(2.1%	減)	(17.6%	減)
支出 予算	576,925 669,336	千円			
(13.8%	減)			

※資本的収支不足額423,025千円を損益勘定留保資金等により補てん
※予算はH30繰越を含む

水道事業の主な取り組み内容

【配水管整備事業】 配水管布設工事 φ50～φ100mm L=132.1m	5,218千円
配水管布設替工事 φ50～φ250mm L=6,390.6m	254,459千円
【緊急貯水槽整備事業】 花の拠点整備工事 工事監理等委託業務	3,936千円
【恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略の策定】 恵庭市水道事業ビジョン及び経営戦略改定版策定支援委託業務	6,688千円

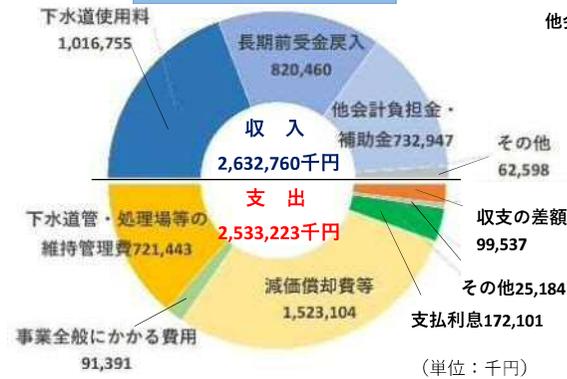
※各項目ごとに千円単位で四捨五入しています

下水道事業会計

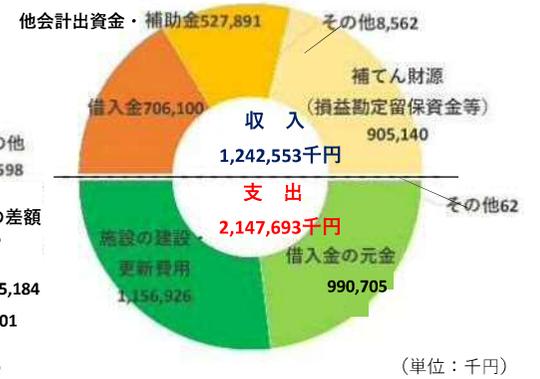
収益的収支 (税抜)

収入 予算	2,632,760 2,730,497	千円	下水道使用料 予算	1,016,755 1,037,869	千円	純利益 予算	100,001 130,291	千円
(3.6%	減)	(2.0%	減)	(23.2%	減)
支出 予算	2,533,223 2,599,206	千円						※特別利益・特別損失を含む
(2.5%	減)						

収益的収支 (税抜)



資本的収支 (税込)



資本的収支 (税込)

収入 予算	1,242,553 1,663,648	千円	建設改良費 予算	1,156,926 1,594,032	千円
(25.3%	減)	(27.4%	減)
支出 予算	2,147,693 2,587,168	千円			
(17.0%	減)			

※資本的収支不足額905,140千円を損益勘定留保資金等により補てん
※予算はH30繰越を含む

下水道事業の主な取り組み内容

【合流地区分流化事業】 φ150～φ300mm L=1,626.65m	262,067千円
【個別排水処理施設整備事業】 新設5基 (5人槽5基)	9,045千円
【長寿命化および耐震化事業】 管渠: 48,430千円 処理場: 46,900千円	95,330千円
【乾燥施設建設事業】 乾燥施設建設工事 2/3年目 (1/3年目繰越含)	702,700千円

※各項目ごとに千円単位で四捨五入しています

令和元年度決算見込み（収益的収支）

(単位：円/%)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	増減率
水道事業収益	㉠ 1,547,783,815	㉡ 1,555,735,880	△ 7,952,065	△ 0.5
営業収益	1,476,952,828	1,465,376,485	11,576,343	0.8
給水収益	1,357,806,758	1,347,998,163	9,808,595	0.7
受託事業収益	50,506,580	53,851,182	△ 3,344,602	△ 6.2
その他営業収益	68,639,490	63,527,140	5,112,350	8.0
営業外収益	70,799,447	90,199,289	△ 19,399,842	△ 21.5
受取利息及び配当金	357,781	82,976	274,805	331.2
補助金	0	19,872,000	△ 19,872,000	皆減
他会計負担金	2,216,000	2,020,000	196,000	9.7
長期前受金戻入	65,240,205	64,688,376	551,829	0.9
雑収益	2,985,461	3,535,937	△ 550,476	△ 15.6
特別利益	31,540	160,106	△ 128,566	△ 80.3
過年度損益修正益	31,540	160,106	△ 128,566	△ 80.3

(消費税抜き)

(単位：円/%)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	増減率
水道事業費用	㉢ 1,411,876,692	㉣ 1,430,571,313	△ 18,694,621	△ 1.3
営業費用	1,377,998,133	1,392,258,546	△ 14,260,413	△ 1.0
受水費	678,535,336	676,678,535	1,856,801	0.3
配水及び給水費	105,862,895	106,521,380	△ 658,485	△ 0.6
受託工事費	10,570,000	5,160,000	5,410,000	104.8
総係費	168,378,782	198,060,041	△ 29,681,259	△ 15.0
減価償却費	383,169,313	375,544,598	7,624,715	2.0
資産減耗費	31,481,807	30,293,992	1,187,815	3.9
営業外費用	33,187,795	37,926,277	△ 4,738,482	△ 12.5
支払利息及び 企業債取扱諸費	33,187,795	37,926,277	△ 4,738,482	△ 12.5
特別損失	690,764	386,490	304,274	78.7
過年度損益修正損	690,764	386,490	304,274	78.7

(消費税抜き)

※ 令和元年度収支差 収益㉠1,547,783,815 - 費用㉢1,411,876,692 = 135,907,123 (純利益)

※ 平成30年度収支差 収益㉡1,555,735,880 - 費用㉣1,430,571,313 = 125,164,567 (純利益)

令和元年度決算見込み（資本的収支）

(単位：円/%)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	比率
資本的収入	Ⓐ 153,900,000	168,200,100	△ 14,300,100	△ 8.5
企業債	140,000,000	150,000,000	△ 10,000,000	△ 6.7
企業債	140,000,000	150,000,000	△ 10,000,000	△ 6.7
出資金	13,900,000	15,900,000	△ 2,000,000	△ 12.6
出資金	13,900,000	15,900,000	△ 2,000,000	△ 12.6
負担金	0	2,300,100	△ 2,300,100	皆減
工事負担金	0	2,300,100	△ 2,300,100	皆減

(消費税込み)

(単位：円/%)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	比率
資本的支出	Ⓑ 576,924,994	619,898,912	△ 42,973,918	△ 6.9
建設改良費	424,448,527	456,243,687	△ 31,795,160	△ 7.0
水道施設整備費	314,811,662	328,905,271	△ 14,093,609	△ 4.3
メーター設置費	105,026,315	114,085,088	△ 9,058,773	△ 7.9
固定資産購入費	4,610,550	13,253,328	△ 8,642,778	△ 65.2
企業債償還金	152,476,467	163,655,225	△ 11,178,758	△ 6.8
企業債償還金	152,476,467	163,655,225	△ 11,178,758	△ 6.8

(消費税込み)

※ 令和元年度資本的収支不足額 支出Ⓑ576,924,994 - 収入Ⓐ153,900,000 = 423,024,994

資本的収支不足額 423,024,994円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

損益勘定留保資金とは... 減価償却費や資産減耗費など、実際の現金支出を伴わない費用などのこと。

下水道事業会計

令和元年度決算見込み（収益的収支）

（単位：円／％）

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	比率
下水道事業収益	㉠ 2,633,694,071	㉡ 2,776,952,522	△ 143,258,451	△ 5.2
営業収益	1,622,964,140	1,631,896,895	△ 8,932,755	△ 0.5
下水道使用料	1,016,754,973	1,038,315,432	△ 21,560,459	△ 2.1
雨水処理負担金	546,391,117	534,647,610	11,743,507	2.2
受託事業収益	59,632,550	58,748,353	884,197	1.5
その他営業収益	185,500	185,500	0	0.0
営業外収益	1,009,796,247	1,144,261,332	△ 134,465,085	△ 11.8
受取利息及び配当金	610,898	904,354	△ 293,456	△ 32.4
補助金	27,350,000	40,875,000	△ 13,525,000	△ 33.1
他会計補助金	57,248,956	123,875,934	△ 66,626,978	△ 53.8
他会計負担金	101,957,561	143,760,420	△ 41,802,859	△ 29.1
長期前受金戻入	820,460,155	831,692,002	△ 11,231,847	△ 1.4
雑収益	2,168,677	3,153,622	△ 984,945	△ 31.2
特別利益	933,684	794,295	139,389	17.5
過年度損益修正益	933,684	794,295	139,389	17.5

（消費税抜き）

（単位：円／％）

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	比率
下水道事業費用	㉢ 2,533,693,019	㉣ 2,619,588,890	△ 85,895,871	△ 3.3
営業費用	2,335,938,171	2,408,304,135	△ 72,365,964	△ 3.0
管渠費	116,076,659	126,231,582	△ 10,154,923	△ 8.0
処理場費	462,191,655	495,212,379	△ 33,020,724	△ 6.7
個別排水処理費	21,454,678	23,894,066	△ 2,439,388	△ 10.2
水質規制費	2,585,000	2,808,500	△ 223,500	△ 8.0
水洗化促進費	4,429,335	2,731,614	1,697,721	62.2
生ごみ・し尿処理場維持管理受託費	56,798,576	55,950,813	847,763	1.5
業務費	57,906,760	62,249,695	△ 4,342,935	△ 7.0
総係費	91,391,175	94,191,731	△ 2,800,556	△ 3.0
減価償却費	1,521,401,440	1,542,071,438	△ 20,669,998	△ 1.3
資産減耗費	1,702,893	2,962,317	△ 1,259,424	△ 42.5
営業外費用	197,285,305	211,132,550	△ 13,847,245	△ 6.6
支払利息及び企業債取扱諸費	172,101,214	187,746,179	△ 15,644,965	△ 8.3
雑支出	19,149,341	18,425,598	723,743	3.9
特別損失	469,543	152,205	317,338	208.5
過年度損益修正損	469,543	152,205	317,338	208.5

（消費税抜き）

※ 令和元年度収支差 収益㉠2,633,694,071 - 費用㉢2,533,693,019 = 100,001,052（純利益）

※ 平成30年度収支差 収益㉡2,776,952,522 - 費用㉣2,619,588,890 = 157,363,632（純利益）

下水道事業会計

令和元年度決算見込み（資本的収支）

(単位：円/%)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	比率
資本的収入	㊶1,242,553,118	1,107,303,136	135,249,982	12.2
企業債	706,100,000	687,700,000	18,400,000	2.7
企業債	706,100,000	687,700,000	18,400,000	2.7
補助金	417,163,000	297,155,000	120,008,000	40.4
国庫補助金	417,163,000	297,155,000	120,008,000	40.4
他会計出資金	110,728,038	117,170,393	△ 6,442,355	△ 5.5
他会計出資金	110,728,038	117,170,393	△ 6,442,355	△ 5.5
負担金	7,432,500	1,750,920	5,681,580	324.5
負担金	7,432,500	1,750,920	5,681,580	324.5
分担金	1,067,580	1,647,470	△ 579,890	△ 35.2
分担金	1,067,580	1,647,470	△ 579,890	△ 35.2
水洗化貸付事業収入	62,000	102,000	△ 40,000	△ 39.2
貸付金収入	62,000	102,000	△ 40,000	△ 39.2
保険金	0	1,777,353	△ 1,777,353	皆減
保険金	0	1,777,353	△ 1,777,353	皆減

(消費税込み)

(単位：円/%)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	
	金額	金額	金額	比率
資本的支出	㊷2,147,692,552	2,049,954,086	97,738,466	4.8
建設改良費	1,156,925,798	990,309,655	166,616,143	16.8
公共下水道整備費	1,144,245,680	972,099,775	172,145,905	17.7
個別排水処理施設整備費	9,045,300	18,106,200	△ 9,060,900	△ 50.0
固定資産購入費	3,634,818	103,680	3,531,138	3,405.8
企業債償還金	990,704,754	1,059,542,431	△ 68,837,677	△ 6.5
企業債償還金	990,704,754	1,059,542,431	△ 68,837,677	△ 6.5
水洗化貸付事業費	62,000	102,000	△ 40,000	△ 39.2
貸付金	62,000	102,000	△ 40,000	△ 39.2

(消費税込み)

※ 令和元年度資本的収支不足額 支出㊷2,147,692,552 - 収入㊶1,242,553,118 = 905,139,434

資本的収支不足額 905,139,434円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

損益勘定留保資金とは... 減価償却費や資産減耗費など、実際の現金支出を伴わない費用などのこと。